

経営比較分析表（令和3年度決算）

滋賀県 総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	32	対象	I 訓ガ	救臨が地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,415,222	72,610	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

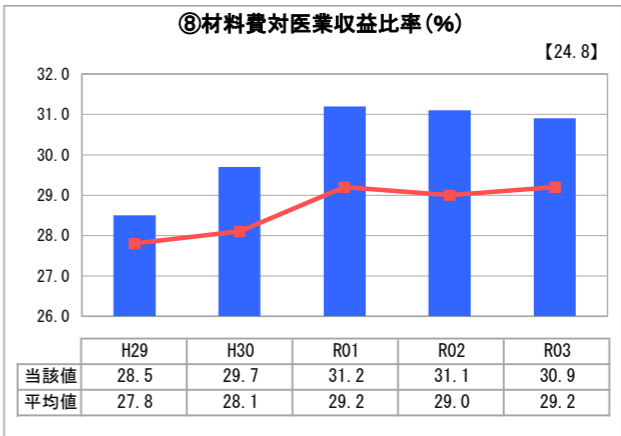
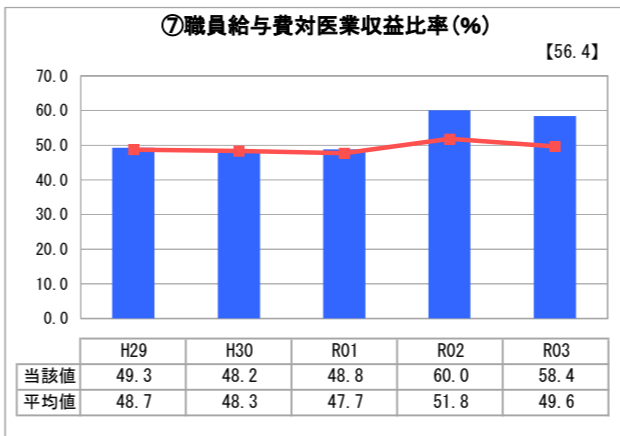
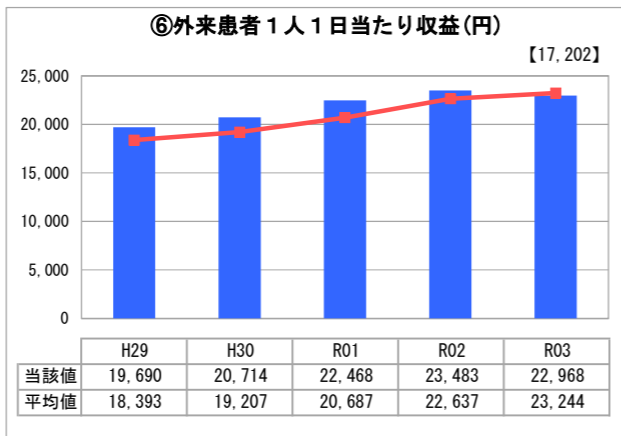
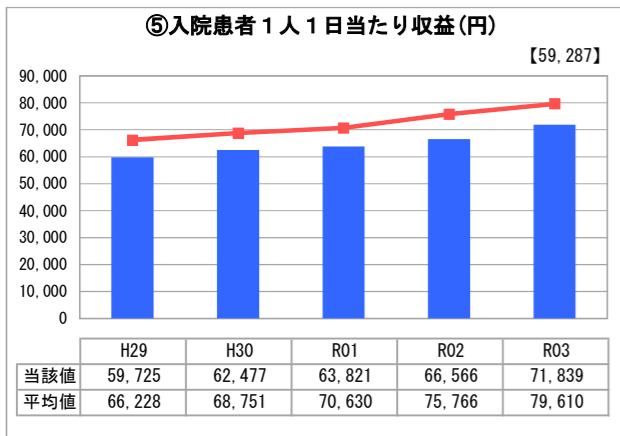
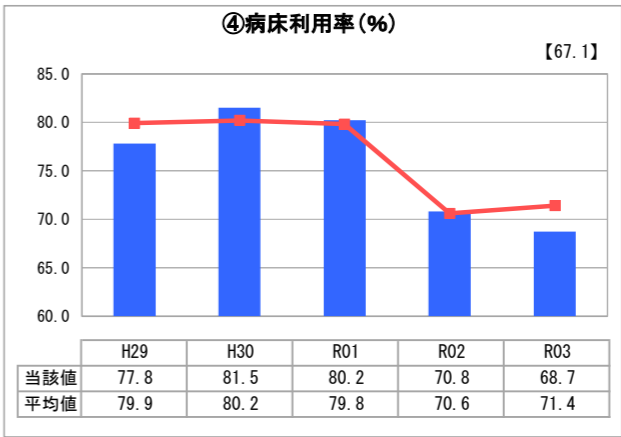
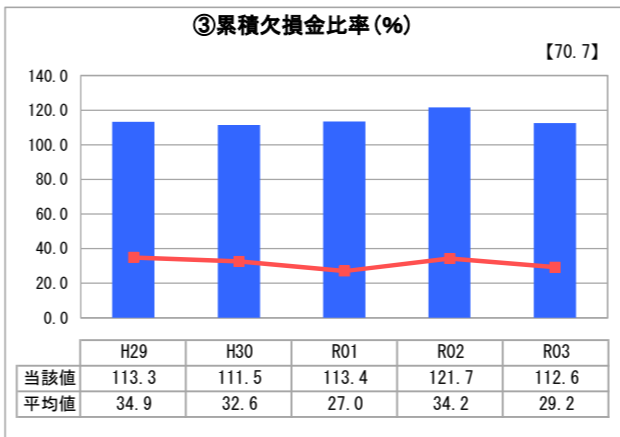
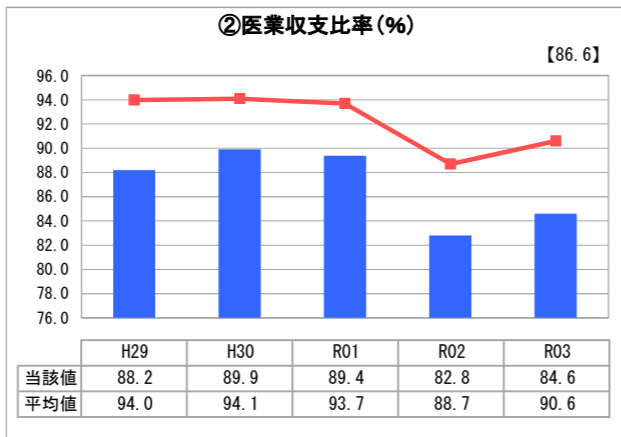
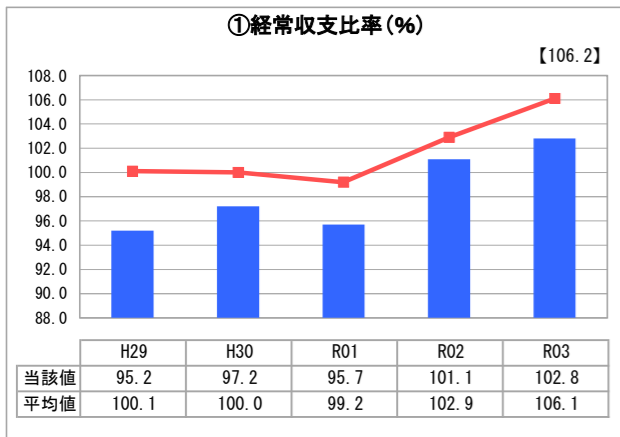
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
535	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	535
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
535	-	535

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

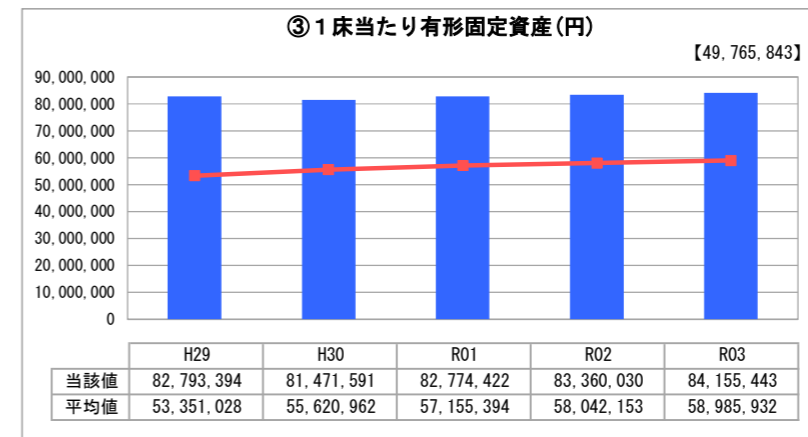
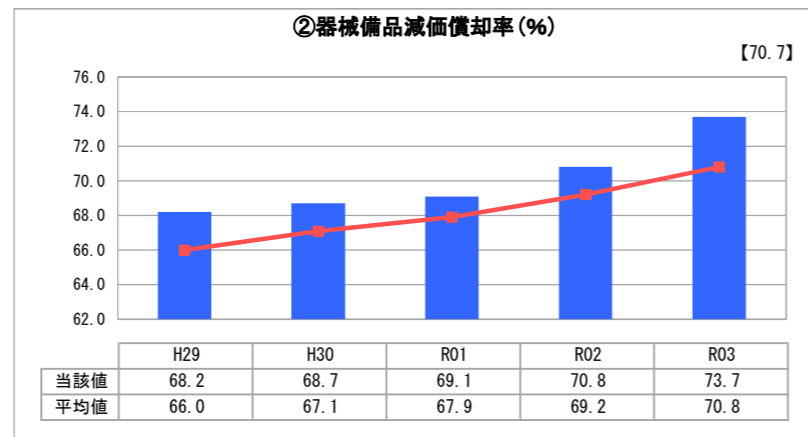
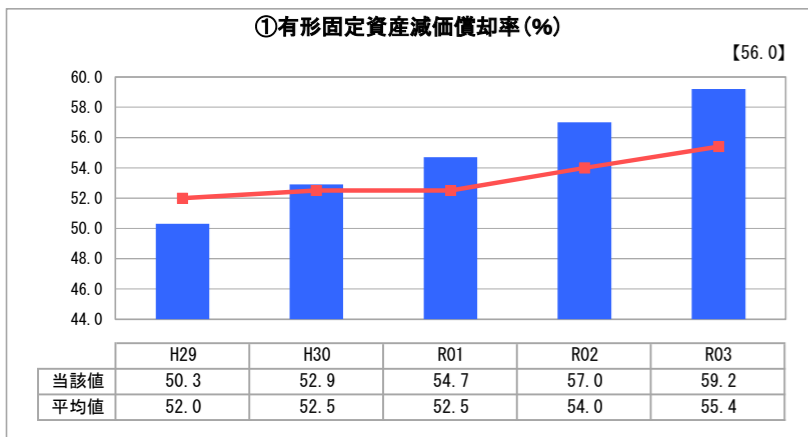
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

がんをはじめとした専門分野において、手術、化学療法、放射線治療のほか、リハビリテーション、再建医療、緩和ケアも含めた多角的、総合的な医療を提供するなど、県内全域を対象とした高度な医療の提供を担っている。

また、令和3年4月に救急科を新たに設置、専門医師を配置し、湖南圏域における二次救急輪番に参画しており、救急医療体制の充実を図っている。

さらに、3つの近隣医療機関と「連携と協力に係る協定」を締結し、患者の転院や相互紹介、医師派遣など、地域における病連携を推進している。

新型コロナウイルスの対応については、令和2年4月より重点医療機関として患者の受入を開始しており、専用病床を確保するとともに帰国者・接触者外来や地域外来・検査センターを設置するなど、感染拡大に備えた医療提供体制を整えている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・ 医業収支比率は、令和2年度と比較すると回復したものの、新型コロナウイルス感染症患者受入れによる病床休止や診療制限等の影響により、令和元年度以前の水準には達していない。

一方、入院診療単価は大幅に上昇しており、併せて新型コロナウイルス対応にかかる補助金を活用した結果、経常収支比率は2年連続で改善した。

・ コロナ患者専用病床の確保と、対応にかかる人員を確保するために病棟を休止した影響等により、病床利用率が2年連続で低下した。

・ 高額な抗がん剤治療等にも幅広く対応しているため、材料費対医業収益比率が前年度と同様に全国平均を上回っている。

2. 老朽化の状況について

・ 有形固定資産については平成28年度に建設した新病棟にかかる減価償却額が累積し、有形固定資産減価償却率が増加している。

・ 器械備品については、全国平均と同水準となっている。医療技術が高度化する中で、引き続き、安全で質の高い医療を提供していくため、医療機器の整備と計画的な更新を進めていく必要がある。

・ 高度な医療の提供に向けた、建物、医療機器等の整備を進めていることにより、1床当たり有形固定資産の保有が全国平均よりも多い傾向が見られる。

全体総括

当院では、がん、血管病（脳神経、循環器など）をはじめ、加齢に伴って複合的に生じる疾患に対して困難な症例にも対応できるよう高い専門性を有する人材を確保するとともに、高度な設備、機器を整備してきたところである。

令和3年度は、診療単価の上昇や補助金の活用により、経常収支が2年連続で100%を上回った。医業収支については、収益が前年度から増加に転じたものの、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、依然低い水準にある。

今後も引き続き、安全で質の高い医療の提供に努めて、収益の確保につなげていくとともに、労働生産性の向上による時間外勤務の縮減や、価格交渉による材料費の削減など費用の適正化を図り、累積欠損金を減少させていく必要がある。また、患者数や医業収支を改善していくことも今後の課題である。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和3年度決算）

滋賀県 小児保健医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	訓	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,415,222	12,970	非該当	非該当	7：1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
100	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
100	-	100

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

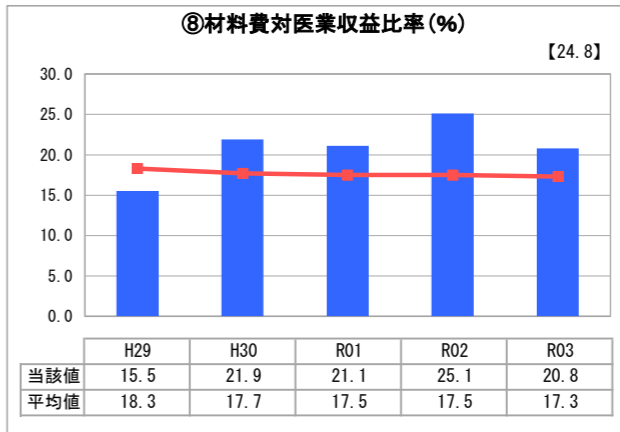
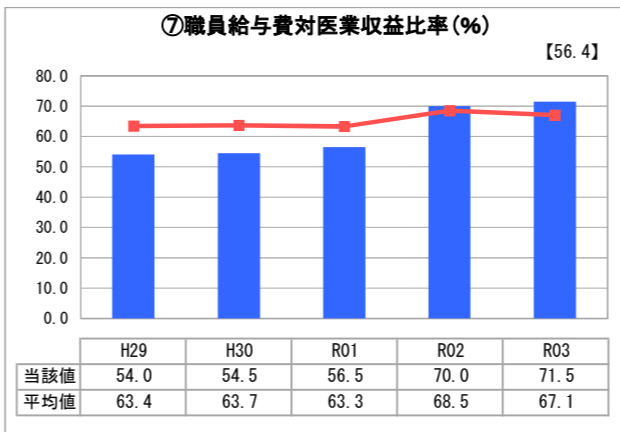
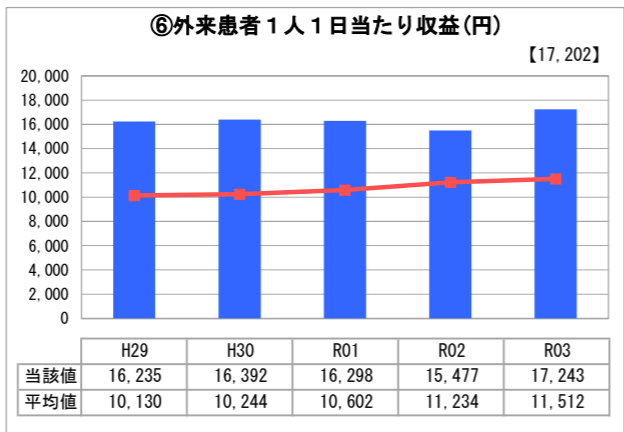
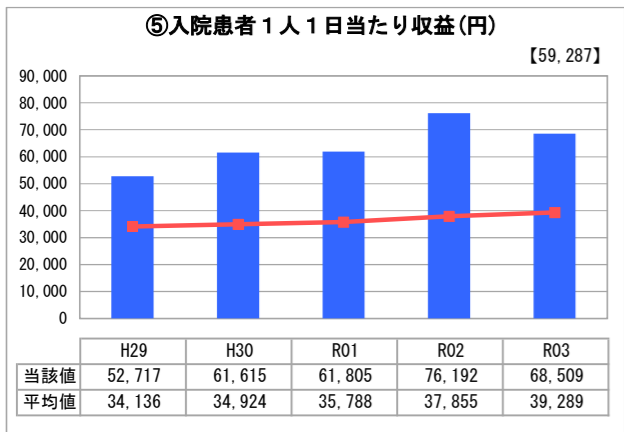
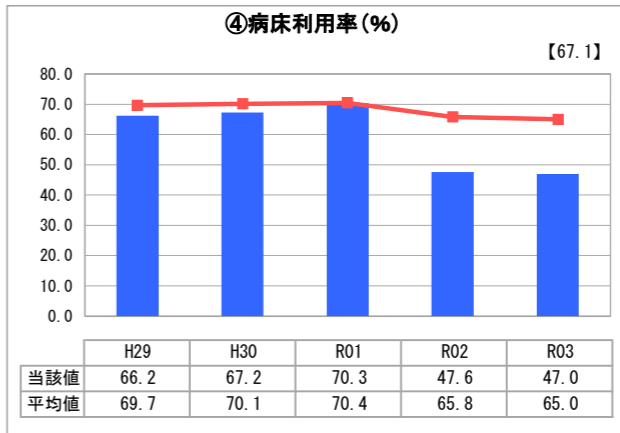
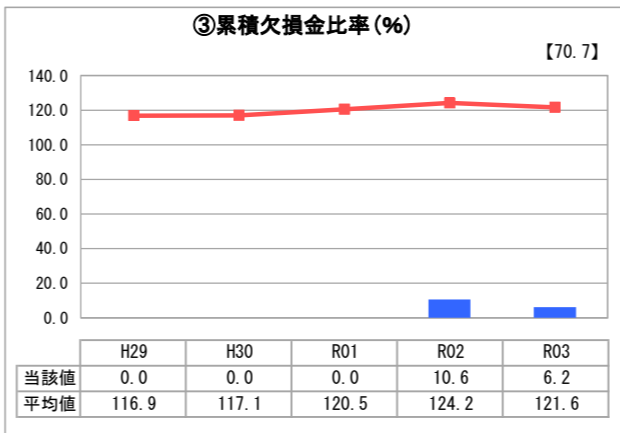
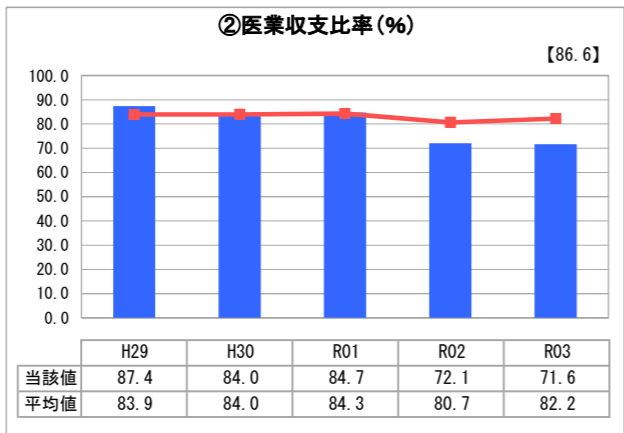
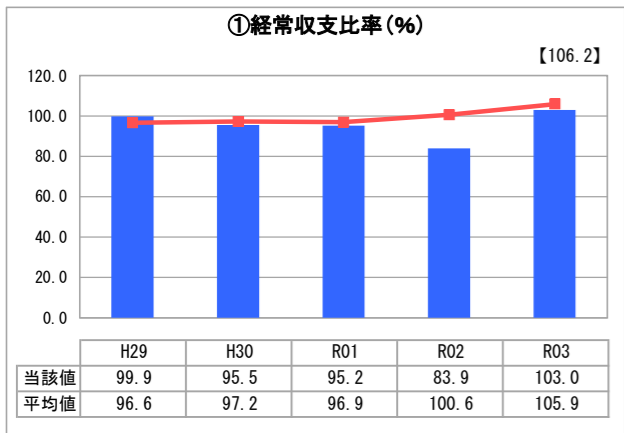
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

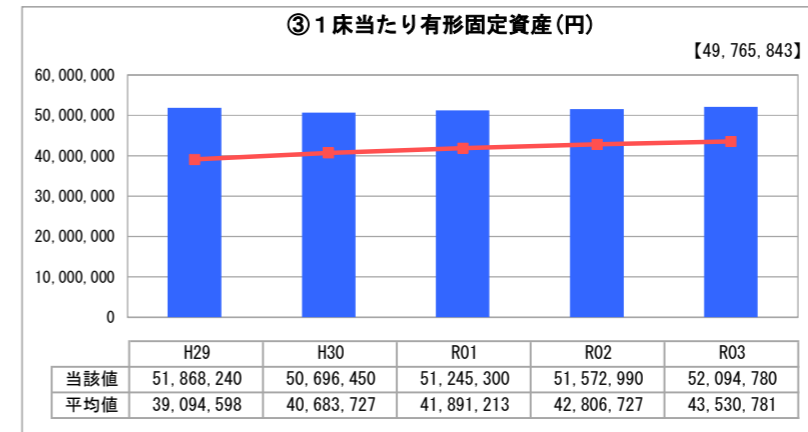
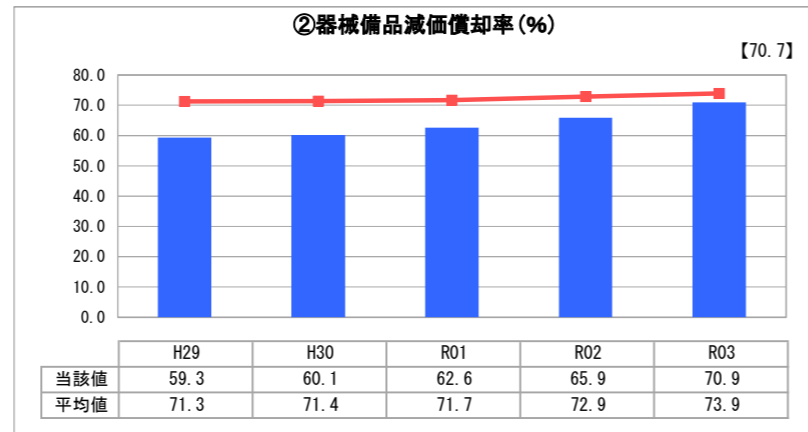
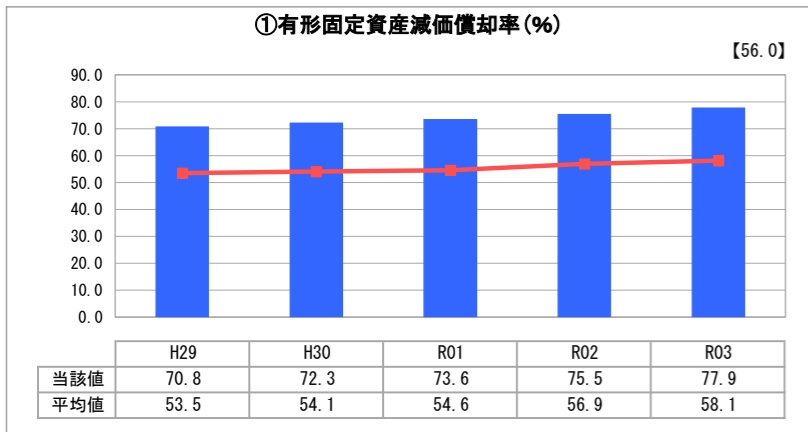
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

- ・一般病院では対応困難な障害児医療や難治・慢性疾患を中心に、地域医療機関と連携を図りながら高度専門的な包括医療を提供している。
- ・乳幼児健診事業、母子保健従事者への研修、生活集団教室や遺伝相談など母子保健の中核的支援拠点として小児保健サービスを提供している。
- ・児童福祉法に基づく医療型児童発達支援センターを併設し、総合的な療育とリハビリテーションを行うとともに、地域療育教室への職員派遣や療育研修会などのサービスを提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・新型コロナウイルス感染症流行の影響により入院・外来ともに患者数、収益が減少した令和2年度と比較すると、病床確保事業に伴う医業外収益の増により経常収支比率が100%を超えたものの、患者数や医業収益は依然低い状態が続いたため、医業収支比率は例年よりも落ち込んだ。

2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率が類似病院の平均値と比べ高く、また、開設から34年が経過し施設・設備の老朽化が進んでいることから、令和11年1月の供用開始を目指し施設再整備を計画している。

・難治・慢性疾患患者を対象とした高度専門医療や一般病院では対応困難な障害児医療を提供するため、性能が高く機能が充実した医療機器を整備し、優れた療養環境を提供する必要があり、1床当たりの有形固定資産が同規模の一般病院の平均値より高くなっている。

全体総括

・経営状態は、平成29年度以降赤字が続いてきたが、令和3年度は病床確保事業に取り組むことで医業外収益が増加したことから、黒字に転じた。

・コロナ感染症の影響により厳しい状況ではあるが、必要な医療提供を継続するために院内感染防止に万全を期しながら、新規患者の増加と病床の最大限稼働の方策を講じ、経費の削減を徹底して、持続可能な経営の実現に努めていく。

・また、昭和63年の開設以来、難治慢性疾患の子供を対象とした医療・保健・福祉の中核機関の役割を担ってきたが、施設設備の老朽化などにより十分な対応が困難となってきた。

・このため、令和11年1月の供用開始を目指し施設再整備を計画している。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和3年度決算）

滋賀県 精神医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	精神科病院	精神病院	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,415,222	10,398	非該当	非該当	15:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
123	-	123
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

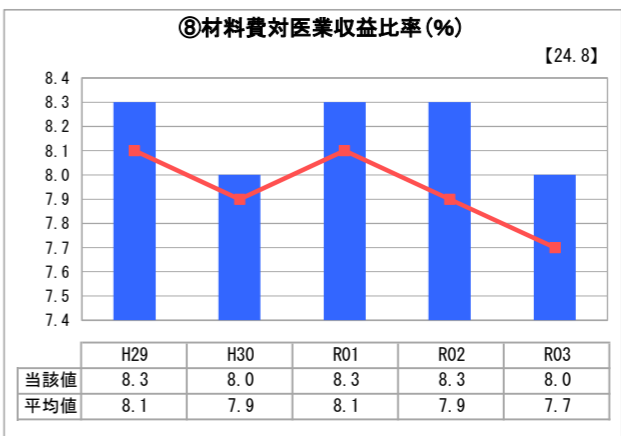
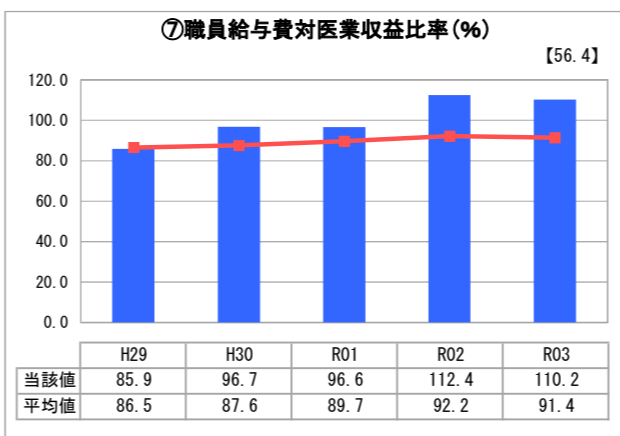
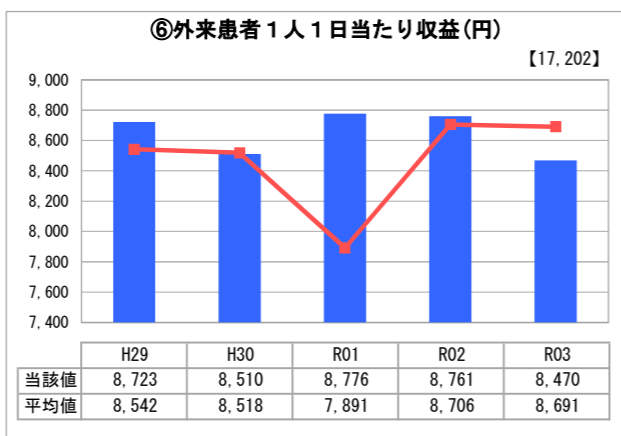
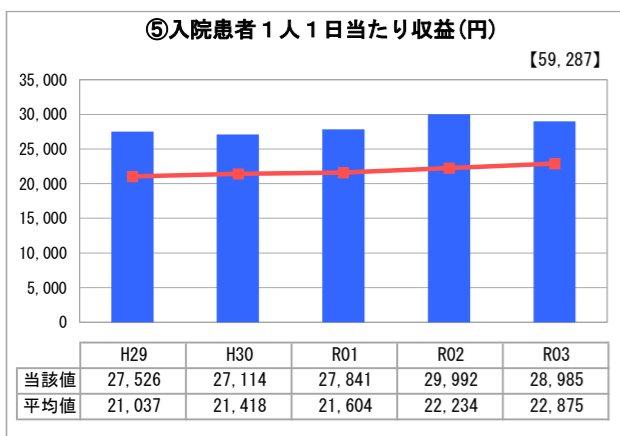
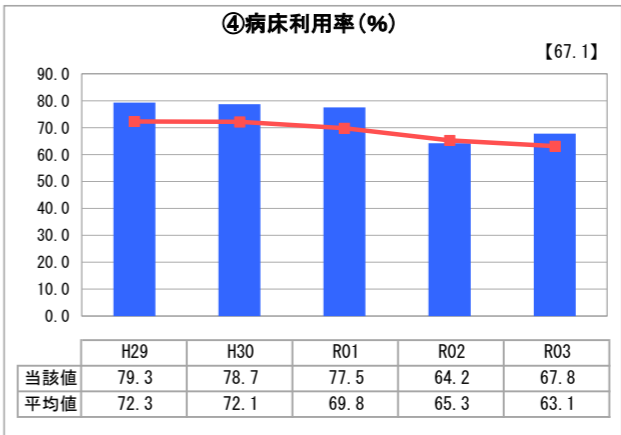
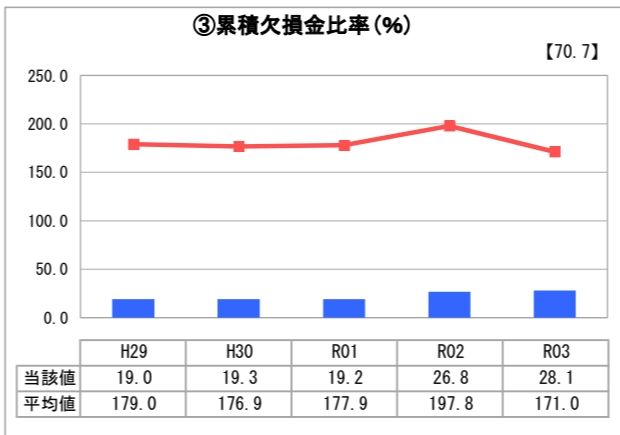
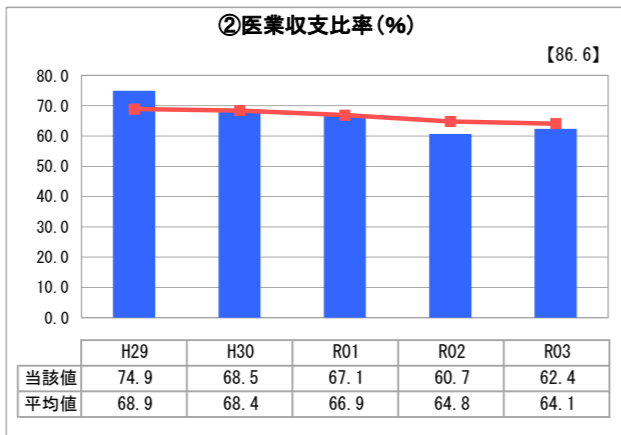
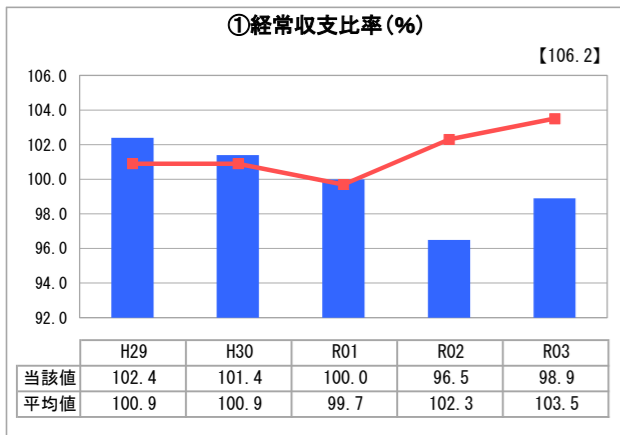
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

- ・県内の精神医療を担う中核施設として、地域医療機関や保健所などの関係機関との連携のもと、思春期精神障害、アルコール依存症等中毒性精神障害、精神科救急医療および身体疾患を伴う精神障害などを中心として、高度・特殊専門医療を担っている。
- ・また医療観察法に基づく鑑定入院および指定通院・入院医療機関としての医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により入院収益が例年と比べて大きく落ち込み、令和2年度決算に引き続き赤字決算となった。
- ・令和2年度と比較すると、医業収支比率は僅かに回復したものの、医業収益のうち入院収益が依然落ち込んだままとなったため、経常収支比率が2年連続で100.0%を割り込む結果となった。
- ・外来患者1人1日当たり収益の減少に伴い、材料費対医業収益比率も減少した。
- ・累積欠損金比率は類似病院平均値を下回ってはいいるが、引き続き医業収支比率を改善し、累積欠損金の解消に努める。

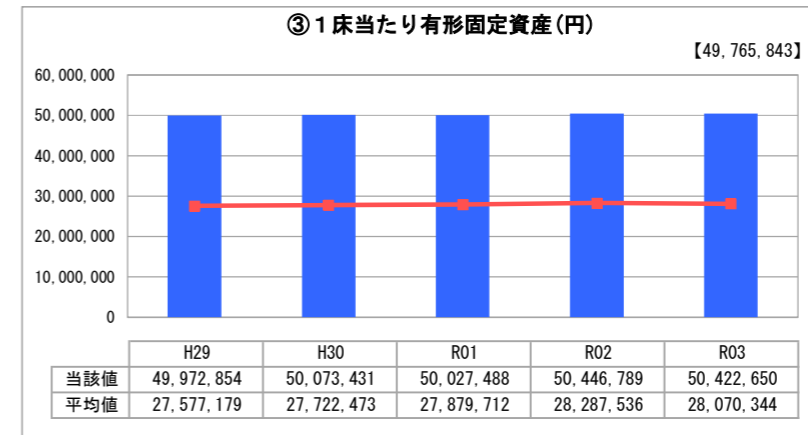
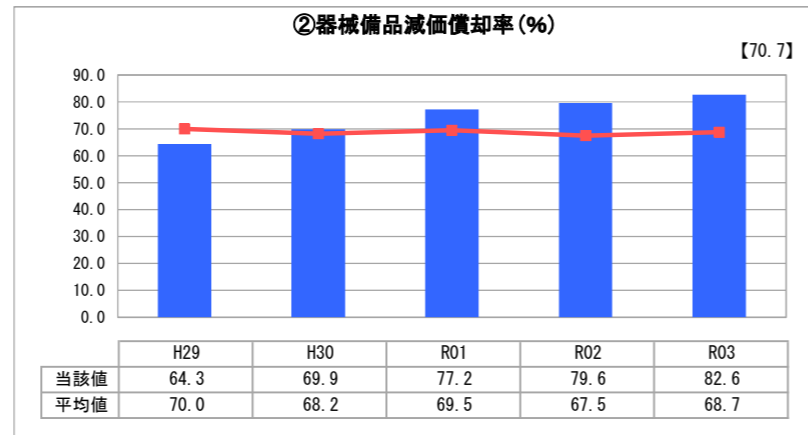
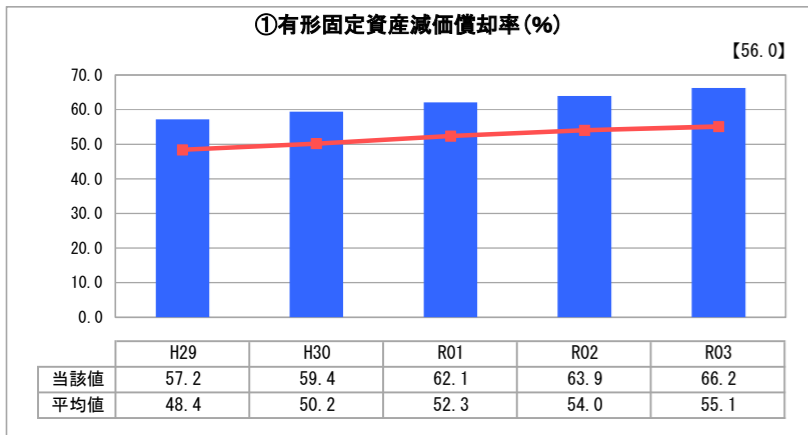
2. 老朽化の状況について

- ・平成25年度に新病棟を開設したことから一時的に有形固定資産減価償却率が低下したが、既存病棟は平成4年度に開設したものであり、類似病院平均値と比較してもやや老朽化が進んでいる。
- ・耐用年数を超過している備品が多く、平成26年度に導入した電子カルテの減価償却も進んでいることから、器械備品減価償却率は類似病院平均値と比較してもやや老朽化が進んでいる。
- ・上記県立病院としての役割を果たせるよう、一般的な病院以上の機能を付加して建設しているため、類似病院平均値よりも1床当たり有形固定資産が高くなっている。

全体総括

- ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に引き続き赤字決算となった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き続くと思定され、今後も厳しい経営状況が続くと思われる。
- ・今後も一層の診療収益確保・経費節減の取り組みなどにより健全な経営に努め、県立病院としての役割を果たしていく。

2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。